

救急車の適正利用にご協力をお願いいたします。

症状に緊急性がなくても、「交通手段がない」「どこの病院に行けばよいかわからない」「便利だから」「困っているから」と救急車を呼ぶ人がいます。また「平日休めない」や「日中は用事がある」、「明日は仕事」などの理由で、救急外来を、夜間や休日に受診する人もいます。

救急車や救急医療は**限りある資源**です。

いざというときの皆さん自身の安心のために、救急医療の受診について考えてみませんか。

消防庁「救急車を上手に使いましょう～救急車 必要なのはどんなとき?～」から引用

十日町市・津南町の救急出場件数は、平成 21 年から、年々増加傾向にあります。

平成 26 年中の十日町消防管内の救急出場件数は 2,773 件で、1 日平均 7.5 件のペースで出動しています。

緊急性がない救急要請によって、「救える命が救えなくなる」恐れがあります。救急車を呼ぶべきか迷った場合には、[にいがた医療情報ネット](#)や、[※とおかまち健康ダイヤル24《0120-108-221》](#)を活用し、軽い病気やけがで緊急性がない場合には、自家用車や介護タクシーなどの利用をお願いいたします。

また、[救急車利用リーフレット\(消防庁\)](#)を参考に、救急車が必要なときはどのようなときか？普段から意識してみましよう。

※「とおかまち健康ダイヤル 24」は、十日町市民対象の事業です。

●以下リンク

[にいがた医療情報ネット](#)

[とおかまち健康ダイヤル24《0120-108-221》](#)

[救急車利用リーフレット\(消防庁\)](#)

